

取扱説明書

エンジン芝刈り機

HG-KCL220SD16

HG-KCL120S16



HAIGE

このたびは芝刈り機をお買い上げ賜わり厚くお礼を申し上げます。

- この取扱説明書をよくお読みいただき、いつまでも安全にお使いください。
- この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

注意文の  危険  警告  注意 の意味について

使用上の注意事項は、下記マークで表示しています。



誤った取り扱いをした場合、死亡または重傷を負う可能性がある場合のご注意。



誤った取り扱いをした場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合のご注意。



誤った取り扱いをしたとき、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合のご注意、及び物的損害のみの発生が想定される場合のご注意。



に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

本書の内容は、後日変更する場合があります。
本機は国内専用です。

おねがい	2
もくじ	3
安全にお使いいただくために	4
危険・警告ラベル	6
各部の名称	7
組立て	8
作業前の点検	12
エンジンのかけ方、とめ方	15
運転操作のしかた	15
点検・整備	20
長期間使用しないとき	25
故障と思ったら	26
主要諸元	28
お客様ご相談窓口	29

⚠ 警告

●作業を始める前に

- ・この取扱説明書を事前に読み、正しい取扱い方法をご理解の上、正しくご使用ください。
- ・身体の調子が悪いとき、判断力に影響するような酒類、薬物を服用して使用しないでください。
- ・正しい操作を知らない人、子供には操作をさせないでください。
- ・各部の操作に慣れ、すばやく停止する方法を習得してください。
- ・日常点検を行い、本機を常に良好な状態でご使用ください。
- ・衣類や頭髮などが巻き込まれないよう作業に適した服装を心掛けてください。
- ・夜間や悪天候など視界が良くないときは使用しないでください。
- ・作業範囲内の石、空き缶、板など異物を取り除いて下さい。
- ・土や砂利の上でバーナイフを回転させないで下さい。
- ・バーナイフが確実に取り付けられているか、バーナイフに異常がないか確認してください。
- ・指定された用途以外には使用しないでください。
- ・エンジンを始動する前には使用前点検を必ず行ってください。
- ・ガソリクは引火しやすく、爆発して死傷事故を引き起こすおそれがあります。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行って下さい。
- ・燃料をこぼさないように注意し、燃料タンクキャップを確実にしめてください。
もし、燃料がこぼれた場合はきれいにふき取って下さい。
- ・排気ガスには十分に注意してください。



警告

●作業中の注意

- ・作業中は、他の人や動物を近づけないでください。
- ・回転しているバーナイフに手又は足を絶対に触れないでください。
- ・作業範囲の異物はあらかじめ取り除いておいてください。
- ・ハンドルをしっかり握り、正しい姿勢で作業をしてください。 走るような操作はしないでください。
- ・ぬれた草を刈らないで下さい。
- ・移動するときは、バーナイフの回転を止めてください。
- ・傾斜地での作業は、横方向に行ってください。
- ・エンジン回転は、刈り取り高さ調節はしないで下さい。
- ・作業中に異物に当たったり、異物が巻きついた場合には、速やかにエンジンを停止し、回転部が完全に停止してから異物を除去し、バーナイフに異常がないか調べてください。異常があった場合には、完全に補修した後でなければ装置を再始動しないでください。
- ・危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンを停止してください。
- ・エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

●作業がおわったら

- ・点検、調整を行うときはエンジンを停止し各部が十分冷えてから行って下さい。
- ・長期保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・子供の手の届かない安全な場所に保管して下さい。

危険・警告ラベル



・警告 騒音に注意してください。

・エンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。

・換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
・運転中は、排気ガスに十分注意してください。

・回転しているバーナイフにふれると死傷することがあります。

・修理の時は、点火プラグキャップを外してください。

・物が飛び出します 人や動物を近づけないで下さい。

・警告 ご使用前に取扱説明書をよく読んで下さい。



写真はHG-KCL220SD16です。

各部の名称



写真はHG-KCL220SD16です。

●梱包部品一覧表

念のため、各パーツが不足していないかのご確認をお願いいたします。
不足している場合は、お手数ですがハイガーまでご連絡ください。

集草バック



ワイヤークリップ



⚠ 警告

- ・組立てはなるべく2人以上で行って下さい。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行って下さい。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行って下さい。

●ハンドルの組立

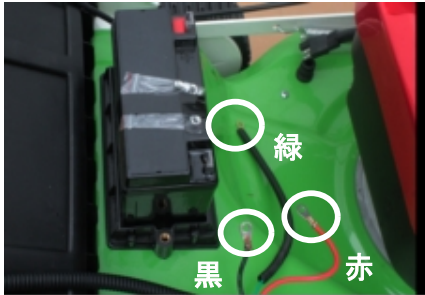
- 1.ハンドルを引き起こします。
- 2.本体にあるそこから、作業者の高さに合わせて選びます。
- 3.ハンドル固定ノブを締めて、ハンドルをしっかり固定します。



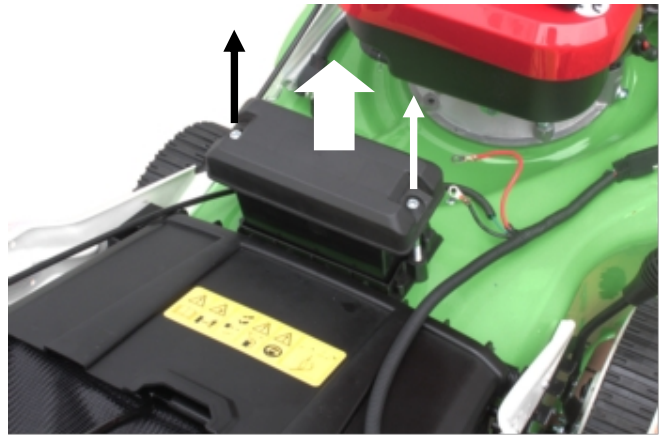
⚠ 警告

- ・組立てはなるべく2人以上で行って下さい。
- ・重量物の運搬は、2人以上で行って下さい。
- ・組立て時は、手袋、長袖シャツなどの保護具を使用してください。
- ・平坦で固い地面の上で組立て作業を行って下さい。

● バッテリーの配線 HG-KCL220SD16



1. バッテリーのカバーを外します。
2. バッテリーに添付されているボルト、ナットを使ってコードを取り付けます。
バッテリー+赤色端子 : 赤いコード
バッテリー-黒色端子 : 黒いコード



3. 写真に示すナットを取り外します。
4. 緑色の線についている卵端子をボルトに通しナットをしっかりと取り付けます。



5. バッテリーのカバーをしっかりと取り付けます。

6. コネクタを接続します。



●集草バックの脱着

取り付け方

- 1.後部カバーを上げます。
- 2.集草バッグのハンドルを持ち上げながら、集草バッグフックを集草バック受けにはめ込みます。



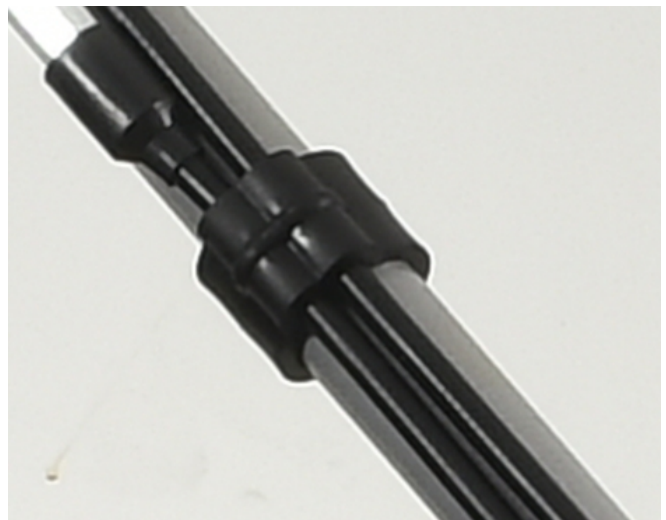
取り外し方

- 1.後部カバーを上げます。
- 2.集草バッグのハンドルを持ち上げながら、集草バッグフックを集草バック受けから外します。



●ワイヤーのクリッピング

ワイヤークリップでワイヤーをハンドルに止めます。



作業前の点検

●燃料の点検

⚠ 警告

- ・点検、整備を行うときは、エンジンを停止してください。
- ・換気の良い場所で行ってください。
- ・火気を近づけないでください。
- ・静電気を除去してから給油してください。
- ・燃料はこぼさないように補給してください、万一こぼれたときは完全にふき取って下さい。
- ・燃料は注入口の口元までいれず給油限界位置を超えないように補給して下さい。

⚠ 注意

- ・補給時、燃料タンク内に水、雪、氷が入らないように注意してください。
- ・ハイオクガソリンは使用しないでください。

燃料(無鉛ガソリン)の量を点検します。

- ・燃料タンクキャップを外し、液面を見て残量を確認します。
- ・少ないときは上限の位置まで補給してください。

補給のしかた

使用燃料 自動車用無鉛ガソリン
(レギュラーガソリン)

燃料タンク 約0.9L
補給後、給油キャップを確実に閉めてください。

燃料タンクキャップ



作業前の点検

●エンジンオイルの点検

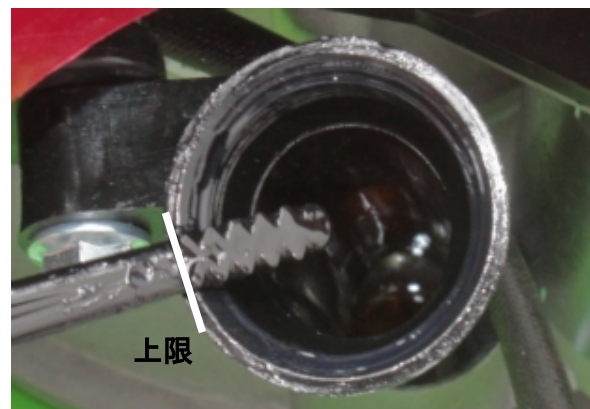
エンジンオイルの量、よごれを確認します。

1. 車体を水平な場所に移動させます。
2. オイル給油キャップを外します。
3. オイルゲージの上端までオイルがあるか点検してください。
4. オイル量が少ないときは、新しいオイルを補給してください。

推奨オイル SAE 10W-30
オイル容量 約0.5L

▲ 注意

出荷時にオイルは抜いています。初回使用時には必ず規定のオイルを入れてください。



作業前の点検

●バーナイフ、バーナイフ締付けボルトの点検

⚠ 警告

- ・バーナイフを点検するときは、エンジンを停止し、点火プラグを外してください。
- ・厚手の手袋をつけて作業を行ってください。

バーナイフに、割れ、曲がり、磨耗など異常がないか確認します。

1. キャブレター側を上にし、本機を傾けます。
2. バーナイフを目視し、割れ、曲がり、磨耗など異常があれば新品と交換してください。

バーナイフ交換締付けボルトの点検

1. バーナイフが回らないように固定して、バーナイフ取り付けボルトを右方向へ締めます。



●エアクリーナの点検

エレメントが目詰まりした状態になると、出力低下、始動困難になります。時々掃除をしてください。

1. エアクリーナーのカバーの爪を押し下げて、カバーを外します。
2. フィルターの汚れを確認します。汚れがひどい場合は、清掃または交換をしてください。



●集草バッグの点検

⚠ 警告

- ・集草バッグを取り外すときは、エンジンを停止してください。

1. 集草バッグを空にしてください。
2. 破れ、ほころびなどが無いことを確認してください。
3. 集草バッグが確実にセットされていることを確認してください。

エンジンのかけ方、とめ方

●エンジンの始動

⚠ 警告

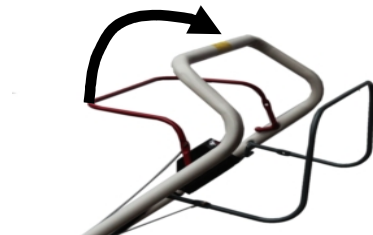
- ・排気ガスには十分に注意してください。
- ・エンジン停止直後に、マフラー及び周辺パーツはまだ非常に熱いため、やけどの恐れがあり、触らないようご注意ください

リコイルスターターによるエンジン始動

1. 自走式は走行クラッチレバーを放した状態にします。
2. プライマリポンプを3回押します。
3. ハンドルとエンジンストップレバーを片手で握ります。もう一方の手でリコイルスターターハンドルを握ります。
4. ゆっくりリコイルスターターハンドルを引いて、重くなる位置を探し、強く引きます。始動したら、ゆっくりとリコイルスターターハンドルを戻します。



エンジンストップレバーを握る



走行クラッチレバーは放した状態

セルスターターによるエンジン始動 HG-KCL220SD16

1. 走行クラッチレバーを放した状態にします。
2. ハンドルとエンジンストップレバーを握ります。
3. エンジンキーを回します。
4. エンジンがかかったら速やかに、エンジンキーから放します。

エンジンキー



⚠ 注意

- ・リコイルスターターハンドルを引いたあと急に手を放さないでゆっくり戻してください。始動装置や周りの部品を破損することがあります。
- ・運転中はリコイルスターターハンドルを引かないで下さい。エンジンに悪影響をあたえます。

●エンジンの停止

1. 走行クラッチレバーを放します。
2. エンジンストップレバーを放します。

⚠ 注意

気温が低いなど、エンジンのかかりが悪いときは画像のレバーを左に押しながらかエンジンを始動してください。



●刈り高さの調節

⚠ 警告

- ・刈り高さを調節するときは、必ずエンジンを停止し、回転が止まっていることを確認の上、点火プラグを外してください。

刈り高さは、刈り高さ調節レバーで25mm～75mmまで5段階で高さの調整が可能です。

刈り高さ調節レバーをタイヤ側に引き、適切な調節溝に入れてください。



芝地の条件により、刈り取り高さは多少変化する場合があります。

●芝刈り作業



警告

・傾斜地では、滑ったり転落等で大けがをする場合があります。

自走による刈り取り作業

- 1.作業範囲にある石、木片、空き缶など異物を取り除きます。
- 2.集草バックを取り付けます。
- 3.エンジンを始動します。
- 4.エンジンが回転すると、バーナイフも回転します。
- 5.走行クラッチレバーを握ると、自走を開始し、芝刈りを行います。
- 6.走行クラッチレバーを放すと、走行は止まります。

●芝刈り作業



警告

- ・傾斜地では、滑ったり転落等で大けがをすることがあります。

斜面の芝刈り

- ・傾斜地での芝刈り作業は、上下方向ではなく、横方向に行ってください。
- ・横方向で作業する場合でも、本機が約10度以上傾く場合は危険ですので、使用しないでください。
- ・傾斜地の方向が変わった場合は、特に注意を払ってください。

起伏の多いところでの芝刈り

- ・起伏の多いところでの芝刈り作業は、ハンドルをしっかり握り、足元に十分注意して作業を行ってください。

●ハウジングの掃除

⚠ 警告

- ・散水用ホースを接続するときは、必ずエンジンを停止し、回転が止まっていることを確認してください。

ウォッシュリンク機能を使って、ハウジングの清掃を行います。

準備

- ・2人で作業を行ってください。
- ・ワンタッチ継手付散水ホースを水道栓に接続してください。

ウォッシュリンク機能

- 1.ワンタッチ継手がついた散水用ホースを接続します。
- 2.一人は水道と散水ホースの接続部分で待機します。
- 3.もう一人は、エンジンを始動します。
- 4.エンジンがかかり、バーナイフが回転を始め、回転が安定したら、水を出す合図をします。
- 5.水道栓を開き、芝刈り機に水を供給します。
- 6.バーナイフの回転で、水がハウジング内側の汚れを落とします。
- 7.汚れが落ちたところで、水道栓を閉めます。
- 8.エンジンを停止します。
- 9.散水用ホースを本機から外します。



⚠ 注意

- ・散水用ホースを接続をするときは、水がエンジンにかからないように注意してください。

⚠ 警告

- ・エンジンキーを抜き安全を確保し作業を行って下さい。
- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

⚠ 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

使用する工具: メガネレンチまたはスパナ 10mm、13mm、9/16インチ

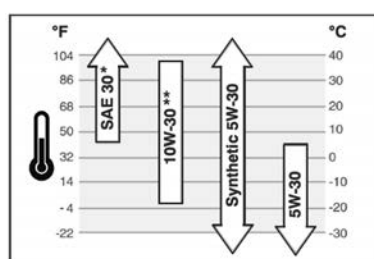
点検整備項目	作業毎	初回25時間後	50時間毎	100時間毎	300時間毎
エンジンオイルの量	点検	交換		交換	
エアクリーナーのよごれ	点検			清掃	交換
ケーブル	点検				
バーナイフの曲がり、傷	点検				
バーナイフ取り付けボルトの緩み	点検				
集草バッグ	点検				
本機回りの点検	点検				
ボルト、ナット類の緩み	点検				
点火プラグ				点検	交換

●エンジンオイルの交換

警告

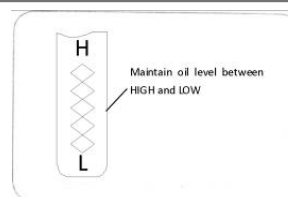
・エンジンが始動しないよう安全を確保し作業を行って下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

交換時期 初回25時間以降、100時間毎
推奨オイル 使用オイル SAE 10W-30
規定量 約0.5L



交換のしかた

- 1.機械を水平な場所で水平な状態にします。
- 2.オイル受けを用意してください。
- 3.オイル給油キャップ、ドレインボルトを外してオイルを抜きます。
- 4.オイルが抜けたらドレインボルトを確実に締めます。
- 5.新しいエンジンオイルをレベルゲージの上限まで入れます。
- 6.注入後、オイル給油キャップを締めます。



●バーナイフの交換

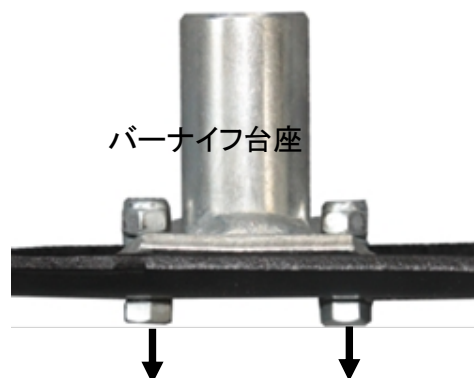
⚠ 警告

- ・バーナイフを交換するときは、必ずエンジンを停止し、回転が止まっていることを確認の上、点火プラグを外してください。
- ・バーナイフには鋭い刃があります。厚手の手袋を使用してください。
- ・常に固定ボルトは十分に締め付けてください。緩んでいるボルトやバーナイフが事故を引き起こす場合があります。

- 1.燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2.マフラーを上にして本体を傾けます。
- 3.バーナイフが回転するのを防ぐ為、木片をバーナイフとハウジングの間に挟みます。
- 4.バーナイフを固定しているボルトを反時計回りに回すと、バーナイフ台座とバーナイフが取り外せます。
- 5.バーナイフ台座とバーナイフを固定しているボルト、ナットを外す際、ナットが回らないように押さえながら、ボルトを緩めます。



- 6.新しいバーナイフにバーナイフ台座をボルト、ナットで取り付けます。ナットが回らないように、押さえながらボルトを締めます。
- 7.バーナイフが付いたバーナイフ台座をシャフトにボルトでしっかり取り付けます。



この際、バーナイフが回転するのを防ぐ為、木片をバーナイフとハウジングの間に挟みます。

●エアクリーナーの清掃

- 1.エアクリーナーカバーの爪を押し下げてカバーを外します。
- 2.フィルタの内側から圧縮空気を吹きつけて汚れを落とします。



●自走式芝刈り機ベルトの調整方法

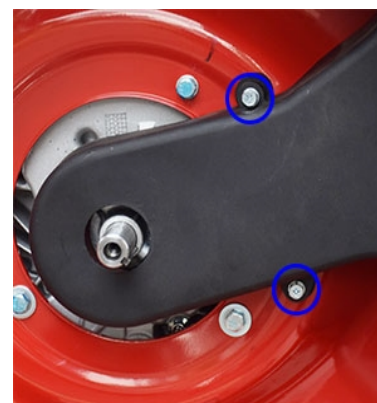
⚠警告

- ・ベルトを調整するときは、必ずエンジンを停止し、回転が止まっていることを確認の上、点火プラグを外してください。
- ・バーナイフには鋭い刃があります。厚手の手袋を使用してください。
- ・常に固定ボルトは十分に締め付けてください。緩んでいるボルトやバーナイフが事故を引き起こす場合があります。

- 1.刃の中心に付いているボルトを外します。
(「●バーナイフの交換」を参考に作業をしてください)



- 2.○で囲まれた2カ所のボルトを外します。



●自走式芝刈り機ベルトの調整方法

3. ナットを反時計回りに回し緩めます。



4. ボルトを時計回りに回すとベルトの緩みが無くなります。
※反時計回しにするとベルトが緩くなります。



5. 写真のようなベルトの張りになるようにしてください。
※張りの程度は、ベルトを指で上から押して、指一本分の厚み位下がる程度



6. ベルトの調整が出来たら、ナットを時計回りに回し、きつく締めます。
※ナットを締めることによって、ボルトが緩まなくなります。



長期間使用しないとき

シーズンが終わりましたら、次の手入れを行い、保管してください

⚠ 警告

- ・作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめて下さい。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願い致します。

⚠ 注意

- ・作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行って下さい
- ・メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管してください。

- 1.燃料タンク、キャブレターの燃料を抜きます。
- 2.ハウジングの中を清掃します。
- 3.集草バッグ内の草を取り除きます。
- 4.各部ボルトの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 5.防錆、給油を行います。

機械が故障と思われるときは、まずご自身で下表を参考に点検・修理を行ってください。

●エンジンがかからない

症状	原因	対処
点火プラグに火花が出ていない	①始動スイッチボタンの不良、 ②スパーク・プラグ不良 ③スパーク・プラグ・キャップ接続不良 ④イグニッションコイルの不良 ⑤イグニッションに関する配線不良	交換 交換 調整 交換 正しく接続
キャブレターに燃料が来ていない	①燃料がはいっていない ②燃料ホースの詰まり、漏れ ③燃料タンク錆びまたは、異物混入による詰まり	燃料を入れる ホース清掃、交換 交換、フィルタ清掃
エンジン内に燃料が来ていない	①キャブレター詰まり(ニードル・バルブ膠着)	キャブレター分解掃除

●過度の振動

現象	原因	対処
本体が振動する 音がする	バーナイフのバランスが取れていない。	新品のバーナイフに交換
	バーナイフ取付ボルトが緩んでいる。	ボルトを確実に締めなおして下さい

●うまく刈り取りできない

現象	原因	対策
芝生が放出されない	バーナイフの刃先が極端に磨耗している	新品のバーナイフに交換
芝生がかれない	刈り取り高さを確認してください。	適切な高さにしてください
	集草バッグが目詰まり、いっぱいになっていませんか。	清掃してください
	芝が濡れている。	芝生が乾いているときに作業

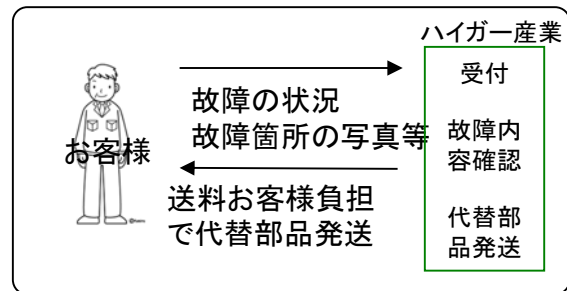
	HG-KCL120S16	HG-KCL220SD16
エンジン	LONCIN 4スト 159cc	LONCIN 4スト 159cc
操作	自走式	自走式
始動方法	リコイルスターター	セルスターター リコイルスターター
芝収集	交換簡単で丈夫な芝収集袋付きです。(容量 55L)	交換簡単で丈夫な芝収集袋付きです。(容量 55L)
刈高さ調節	5段階調節(25mm～75mm)	5段階調節(25mm～75mm)
刈幅	508mm	508mm
排出方向	後	後
ホイールサイズ(F/R)	7"/8"	7"/8"
本体サイズ	820mm × 550mm × 440mm(ハンドル除く)	820mm × 550mm × 440mm(ハンドル除く)
重量	28kg	28kg

この仕様諸元は改良のため予告なく変更することがあります。

まず、「故障と思ったら」を参考に、ご自身で点検してください。

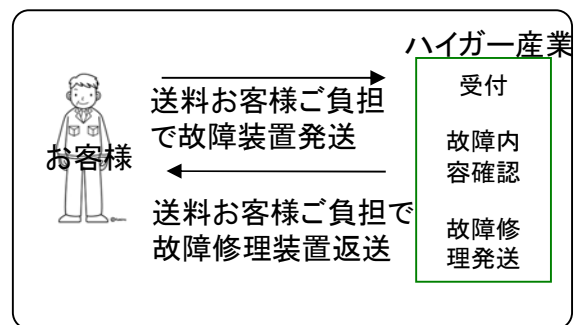
●故障部品をお客様で交換される場合

保証期間内は消耗品を除き
壊れた部品は当社で保証しま
す。
送料は全てお客様のご負担と
なります。



●故障品をメーカーで修理する場合

保証期間内の本体修理も無料
で承ります。
その際に生じる往復の送料は
お客様のご負担となります。



修理を依頼される時は
下記の事項をご連絡ください。

- ① 故障の状況
- ② 型式
- ③ 製造番号
- ④ ご購入年月日
- ⑤ お名前、ご住所、電話番号

お問合せ先

本社 ハイガー産業株式会社
〒370-0503
群馬県邑楽郡千代田町赤岩3072-3
TEL0276-55-2275 FAX0276-55-2276

Hi ΔIGE